ガチ職人を育てる情熱

小さな一歩から進化し続ける atelier Woody Bell

宝飾業界では職人不足という課題を抱え、最終的に厳しい時代を抜け勝ち抜ける会社は「職人を持つところ」と言われ始めているところだが、催事やSNS販売を模索する販売を優先するしかない企業も多く、職人不足という課題は年々大きくなるばかりである。

その一方で、ジュエリースクールに通いSNSでジュエリーを販売する人たちは増えている。アクセサリーの域から抜け出せない人たちが多くいることも確かだが、自らジュエリー業界に入りたいという人たちがいる事実や、ジュエリーを学ぶ人たちの間で職人を希望する女性が増えているということに着目することだって、業界の健全な発展に必要不可欠な要素に違いない。

職人として独立し今年で31年目を迎える「Woody Bell」の鈴木広宣社長は、以前から「ジュエリー職人を増やす仕組みが業界に備わっていない。学校や専門学校を出ても、若手の職人が技術を伸ばし続けられるような環境がない。一企業として難しいのであれば業界として取り組む必要がある」と警鐘を鳴らしてきた。

そんな鈴木社長は「今よりも厳しい時代に丁稚奉公し、師匠に技術を教わり、多くのブランドやメーカーなどにお世話になってきた。そろそろ自分も業界に恩返ししたいと考えるようになってきた」という思いから、2022年より、自分ができる範囲内で「貸し工房」をスタートさせた。大きなことはできないかもしれないと話す鈴木社長だが、職人として仕事をこなす傍らで、工房に通う人たちに自分が持つ技術を惜しみなく教えつつ、「教える」ということを自分が学ぶという姿勢から、道具や環境を揃えるばかりではなく、様々な費用も実費で行ってきた。

鈴木社長は「いつかは自分が業界から培った技術や経験を、次の世代の若い人たちへ教えたいというのが昔からの『夢』だった。自分が歩んできた道のガチ職人を自分も育てたいんです」という夢に向かって、技術を伝える難しさを克服しようと、この数年努力を続け『夢』を追いかけている。

その成果として、「atelier Woody Bell」には現在、ジュエリー教室と貸し工房が併設されており、ジュエリーの町・御徒町で現役の職人と同じ環境の中、一緒に作業・勉強のできる貸し工房として運営されている。

特長としては、プロ育成コースから彫金コース、銀粘土コース、本格的エングレーヴィングまで習え、初心者からジュエリー業界で職人として働きたい人まで通えるところだが、もっと高い技術を手に入れている職人にまで門徒を広げているのが鈴木社長のこだわりの部分であり、鈴木社長が注ぐガチ職人を育てたいという情熱だ。

ここに到達するまでには、生徒とともにハンドメイドフェスに出て、商品の見せ方から接客、購入者の意見を聞ける環境を提供してきたのをはじめ、ダイヤモンドの基礎講座、ジュエリーの撮影といった座学から、各種ワークショップなどの体験型スタイルほか、YouTubeで技術を公開するなど、色々なことを試しながら教えるスタイルを進化させ続けてきている。

7月25日には初のオンライン講座を開き、普段教室に通えない人などを中心に、個別で丁寧に、生徒が知りたいことを教え始めた。

鈴木社長は自身の33年の経験から、ジュエリー制作に対して各々の想いがあることを知っている。だからこそ、そんな想いのある人たちに向けて、atelier Woody Bellを活用してもらいたいと教室を始めた。現役の職人が働いている姿を見ることができるのもatelier Woody Bellの大きな特長でもあり、刺激を受けることができる。

このように鈴木社長が始めたことはたとえ今は小さな一歩だったとしても、いずれは大きな足跡になるはずだ。業界を大きく変える一歩にさえ化ける可能性は誰も否定できない。しかしそれは鈴木社長の努力だけではなく、鈴木社長を応援する周りの宝飾関係者に掛かっているとも言えるだろう。なぜなら鈴木社長のように教室を開いている職人が増えており、そこに若手が集まり始めている。なぜそこへ若手が集まるかと言えば、そこに『夢』が溢れているからだ。

自社でできないのであれば鈴木社長のように頑張っている人を応援することだって大きな貢献に繋がること。みんなが小さな一歩を踏み出すのが理想だが、手を繋いで踏み出す一歩だってよい。成熟した産業であり、歴史ある業界だからこそ協力することが望ましい。そんな、協力できるような環境づくりが業界には必要だろう。

販売元：株式会社ミツムラ　〒110-0015 東京都台東区東上野2-13-12 M&Mビル8F TEL.03-3832-6186　FAX.03-3832-6189